

10月定例記者会見

令和元年10月21(月)

16:00～ 第1委員会室

1 あいさつ

2 会見事項

- (1) ふるさと足利応援寄附金の寄附者への返礼の見直しについて
[資料No.1]
- (2) 雑誌スポンサー制度の実施について
[資料No.2]
- (3) 足利の文化財一斉公開 2019 について
[資料No.3]
- (4) 観光情報
[資料No.4]

3 行事予定

(1) 戦没者追悼式

10月24日(木) 14:30 市民会館小ホール

問い合わせ: 社会福祉課・TEL20-2132

(2) 草雲美術館開館50周年 「高みにのぼる、田崎草雲」

10月26日(土)～12月22日(日) 9:00 草雲美術館

問い合わせ: 草雲美術館・TEL 21-3808

(3) ポイ捨て防止啓発クリーン散歩

10月27日(日) 8:30 太平記館駐車場

問い合わせ: 環境政策課・TEL20-2151

(4) 足利秋の毛野大坊山ハイキング大会

10月27日(日) 9:00 山川町長林寺公園

問い合わせ: 毛野大坊山観光協会(田沼)・TEL91-2454

(5) 外国人による日本語スピーチコンテスト

10月27日(日) 13:00 市民会館別館ホール

問い合わせ: 国際交流協会・TEL43-2412

- (6) **市民ホールコンサート 森 大輔 (ピアノ独奏)**
 1 1 月 1 日 (金) 1 2 : 1 5 市役所市民ホール
 問い合わせ: 文化課・TEL20-2227
- (7) **市立美術館 企画展 「絵本とデザインの仕事 安野光雅展」**
 1 1 月 2 日 (土) ~ 1 2 月 2 2 日 (日) 1 0 : 0 0 市立美術館
 問い合わせ: 市立美術館・TEL 43-3131
- (8) **足利っ子わいわいフェスタ**
 1 1 月 3 日 (日) 1 0 : 0 0 市民プラザ小ホールほか
 問い合わせ: 市民プラザ・TEL 72-8511
- (9) **市優良青少年・団体表彰**
 1 1 月 3 日 (日) 1 4 : 3 0 市民会館小ホール
 問い合わせ: 青少年センター・TEL20-2227
- (10) **N響定期公演足利学校コンサート**
 1 1 月 8 日 (金) 1 4 : 0 0 史跡足利学校方丈
 問い合わせ: 市民会館・TEL41-2121
- (11) **ドリーム・サッカーin 足利**
 1 1 月 1 0 日 (日) 総合運動場陸上競技場
 9 : 4 5 少年少女サッカー教室
 1 3 : 3 0 ドリーム・ゲーム
 問い合わせ: 運動場管理事務所・TEL41-3963
- (12) **足利市民福祉大会**
 1 1 月 1 0 日 (日) 1 3 : 0 0 市民プラザ文化ホール
 問い合わせ: 社会福祉課・TEL20-2132
- (13) **あしかが婚活応援事業 あまーい恋の味! スイーツ婚**
 1 1 月 1 0 日 (日) 1 3 : 0 0 北郷公民館
 問い合わせ: 出逢いプロデュース会 (中嶋)・TEL090-3319-5305
- (14) **幸楽荘まつり**
 東幸楽荘・西幸楽荘 1 1 月 1 1 日 (月) 1 0 : 0 0
 南幸楽荘・北幸楽荘 1 1 月 1 2 日 (火) 1 0 : 0 0
 問い合わせ: 元気高齢課・TEL20-2153
- (15) **足利市消費生活展**
 1 1 月 1 7 日 (日) 1 0 : 0 0 市民プラザ
 問い合わせ: 消費生活センター・TEL73-1210

(16) **身体障がい者スポーツ大会**

11月17(日) 10:00 身体障害者スポーツセンター

問い合わせ: 市民プラザ・TEL 72-8511

.....
次回の定例記者会見の予定

11月20日(水) 16:00 第1委員会室
.....

令和元年10月11日

報道機関各位

総合政策部 財政課

ふるさと足利応援寄附金の寄附者への返礼の見直しについて

地方税法が改正され、ふるさと納税の返礼等の基準が確立されたことに伴い、本市の返礼を見直しました。見直しにあたっては、ふるさと納税制度の理念である「お世話になった地域やこれから応援したい地域の力になれる制度」であること、「地域への関心、地域とのつながりを作るための制度」であることを踏まえました。

記

1 返礼の見直し

従来通り制度本来の理念を尊重する姿勢を維持しつつ、本市とのつながりを作るという視点で見直しました。

< 1万円の寄附に対し以下の3つのコースから選択 >

(1) フラワーパークコース

- ・あしかがフラワーパーク入場チケット（2枚）
- ・あしかがフラワーパークで使えるお土産券（金券2,100円相当）

(2) ココファームコース

- ・地元産の野菜を使用したランチ、ワイナリー見学、テイスティングを内容としたチケット（1枚）

(3) 足利学校コース

- ・足利学校参観券（2名分）
- ・観光情報・物販施設「太平記館」（足利学校隣接）、「あし・ナビ」（東武伊勢崎線足利市駅構内）で使えるお土産券（金券2,000円相当）

2 その他

- ・11月上旬から新たな返礼品による寄附の受入れを開始する予定です。
- ・返礼品は楽天のふるさと納税ポータルサイトに掲載し、ポータルサイト上で寄附の手続きを行った方に提供します。
- ・返礼品の提供は、地方税法の規定により市外居住者のみ対象となります。
- ・返礼品については随時追加していく予定です。

所管課	発表者		担当者		
	職名	氏名	職名	氏名	電話
財政課	参事	岡田和之	主査	柏瀬玲央奈	0284-20-2106

雑誌スポンサー制度の実施について

教育委員会事務局 市立図書館

1 趣旨

雑誌購入費用の補完、市民サービスの向上及び地域経済の活性化を図ることを目的として、雑誌スポンサー制度を実施しようとするものです。

2 雑誌スポンサー制度の内容

企業や団体等は、図書館が示した雑誌リストから任意の雑誌を選定、購入し、図書館に提供します。図書館は、当該雑誌の最新号のカバー及び雑誌架に提供者の広告を掲出し、図書館利用者の閲覧に供します。

雑誌スポンサーとなる企業や団体等は、応募のあったものの中から選考により市が決定します。

3 広告イメージ

裏面のとおり

4 スポンサー募集期間

令和元(2019)年11月から

5 広告掲載期間

当該雑誌の刊行期間の単位にかかわらず、4月1日から翌年3月31日までとし、年度の途中から掲載する場合は、市が掲載を決定した日の属する月の翌月から当該年度の3月31日までとします。

ただし、期間満了の1か月前までに書面による終了の意思表示がない場合は、従前の契約と同一条件で更新したものとし、その後も同様とします。

6 今後の予定

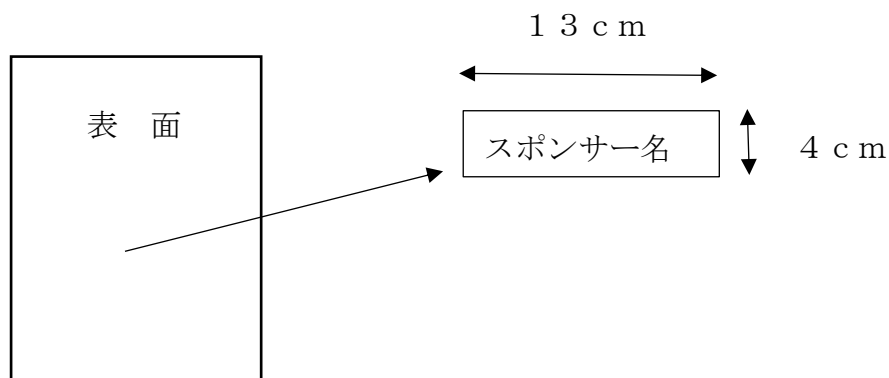
令和元(2019)年11月 スポンサー募集開始（広報紙、ホームページ掲載）
広告掲載決定後、雑誌カバーへの掲載を開始

【広告イメージ】

1 最新号カバー

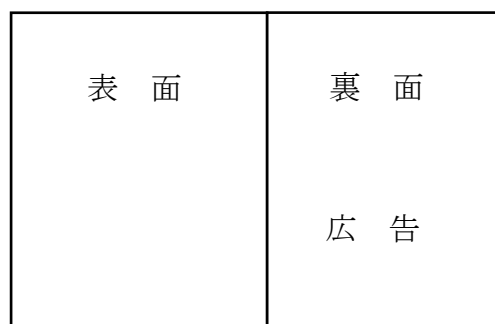
スポンサー名を掲載（地色は白色、文字は黒色）

掲載位置は、雑誌タイトルが隠れない位置とする。



2 広告（A4サイズ以内）

最新号カバー裏面に広告を掲出することができる。



3 雑誌架

2の裏面広告と同様のものを表示する。

足利の文化財一斉公開 2019 について

教育委員会事務局文化課

TEL 20-2230

「足利の文化財一斉公開」は、歴史と文化のまち足利ならではの取り組みで、市域全体に及ぶ大規模な文化財の公開は、全国的にも類例がほとんどなく、今年で14回目を迎えます。詳細なパンフレットが完成しましたので、概要をお知らせします。

- 1 実施日時 令和元(2019)年11月23日(土・祝)・24日(日)
午前9時30分～午後4時

※公開日・公開時間は、各公開場所によって異なります。

(パンフレット2ページ「文化財公開場所一覧」参照)

- 2 公開場所 67か所

- 3 お薦めのポイント

・足利氏ゆかりの寺社巡り(パンフレット5・6・19ページ)

足利義兼公没後820年を記念して、足利氏ゆかりの寺社11箇所及び新田義貞ゆかりの寺である瑞泉院を特別公開します。善徳寺及び瑞泉院は初公開となります。それらを巡る無料巡回バス「ぐるワンバス」を走らせるほか、文化財見学ツアーを実施します。また、法玄寺、法楽寺、鑿阿寺、光得寺、樺崎八幡宮・史跡樺崎寺跡、瑞泉院の6箇所で、数量限定の特製文化財カードを配布します。

※市民ホールで、11月1日(金)～11月25日(月)、足利氏ゆかりの寺社の紹介パネル展を行います。

- 4 2019の特筆点

(1)御朱印対応可能な公開場所等の紹介(パンフレット2・19ページ)

御朱印を集めている人が増えている状況から、今回初めて、公開時間内に御朱印の対応ができる公開場所をパンフレット内に示しました。また、御朱印に関わるイベント情報も掲載しました。

(2) 公開場所周辺のお店マップ作成

パンフレットとは別に市内5地区（北部、西部、南部、中央部東、八木宿周辺）の公開場所周辺の食事場所やお土産品店をマップに表示し、各地区の公開場所で配布します。

5 各種イベント（パンフレット18・19ページ）

- ・企画展『元号ー令和から江戸時代後期までー』（史跡足利学校）
- ・夜間特別公開『紅葉ライトアップ』&『薩摩琵琶演奏』（「足利灯り物語」共同事業）（物外軒）
- ・企画展『高みにのぼる、田崎草雲』展（草雲美術館）
- ・特別公開『新藤氏庭園』（新藤氏庭園）
- ・ミニ企画展『足利の埴輪たち』（郷土資料展示室）
- ・足利文化財めぐりサイクリング（環境政策課）
- ・学童集団疎開75周年記念イベント『エミ子ちゃん、御元気ですか？』（山川長林寺）
- ・秋の夕べ『トランペットコンサート in 宗泉寺』（宗泉寺）
- ・特集陳列『伊萬里焼の割付文様』（栗田美術館）
- ・特別展『新所蔵文化財展ー河内家文書（修験道史料）を中心にー』（ふるさと学習・資料館）
- ・西国三十三観音御開帳記念『瑞泉院の御朱印』（瑞泉院）
- ・御朱印めぐりイベント『廻ろう古都足利』（足利市内寺社有志企画）
- ・『子ども歌舞伎と歌舞伎舞踊』（葉鹿仲町自治会館、樺崎八幡宮・史跡樺崎寺跡）

6 市民力を活かした公開

この事業は、所有者の積極的な協力とともに、多くの案内ボランティアの方々の献身的な協力によって成り立っています。今回は20名を超える新しいメンバーを加えた80名近いボランティアが参加しています。

当日、各公開場所で説明員として立つボランティアスタッフは、3回の「文化財案内ボランティア事前研修プログラム」（自由参加）に参加するなどした上で、各公開場所の文化財について独自に勉強し、当日に臨んでいます。

***11月観光情報**

【フラワーファンタジー ～光の花の庭2019～】

（一社）夜景観光コンベンション・ビューローより「日本三大イルミネーション」に認定されているほか、イルミネーションアワード（2016年～2018年）のイルミネーション部門で3年連続全国第1位を獲得したイルミネーションイベントが今年も開催します。500万球のイルミネーションに彩られた幻想の世界では、最先端LEDによる光の壁画「レインボーマジック～未来へのかけ橋～」や「フラワーキャッスル」、「光のバラ園」、「光の睡蓮」などがパーク内を華やかに彩ります。神秘的な大藤棚もイルミネーションで再現しており、人気があります。イルミネーションの点灯は、午後4時30分頃です。

日 時:10月26日(土)～2月6日(木)

(平日)午後3時30分～午後9時

(土・日・祝)午後3時30分～午後9時30分

※12月31日(火)は休園。新年は元旦から営業します。

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町607)

料 金:(夜間料金) 大人1,000円、子供500円

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅から徒歩約3分

東武伊勢崎線足利市駅から車で約20分

北関東自動車道足利ICから車で約15分

東北自動車道佐野藤岡ICから車で約18分

問合せ先:あしかがフラワーパーク ☎0284-91-4939

【国宝書籍特別公開 史跡足利学校企画展『元号 一令和から江戸時代後期まで一』】

新天皇のご即位により、国書『万葉集』を典拠とした新元号「令和」の時代が始まりました。今回の展示では、田崎草雲が所蔵していた『万葉集』（文化2年刊）や、国宝『宋版 尚書正義』、『宋版 周易注疏』など、元号の典拠を示す貴重書籍を一堂に展示し、元号の由来について広く紹介します。

展示期間中、元号・漢籍に関する内容の講演会や学芸員によるギャラ

「観光振興課（観光協会提供）」

リートークを開催します。

展示期間：10月25日（金）～12月8日（日）

（うち国宝書籍公開期間10月25日～11月10日）

参観時間：午前9時～午後4時30分（受付は午後4時まで）

展示場所：足利学校遺蹟図書館（史跡足利学校内）

休館日：11月11日（月）

問合先：史跡足利学校事務所 ☎0284-41-2655

☆基調講演

講師：東京大学大学院人文社会系研究科教授 小島 毅 氏

演題：「元号の典拠 ―なぜ漢籍なのか―」

日時：11月10日（日）午後1時30分～午後3時

場所：史跡足利学校復原建物方丈

定員：当日先着60人 ※事前申し込み不要

☆学芸員によるギャラリートーク

日時：11月2日（土）、3日（日）、4日（月）

(1) 午前11時～午前11時30分 (2) 午後2時～午後2時30分

定員：各回とも15名程度 ※事前申し込み不要

【物外軒茶室無料公開】（足利市指定重要文化財）

この茶室は、もともと猿田の萬屋三代目 長 四郎三氏によって、明治初期に渡良瀬川河畔の萬屋邸内に建てられました。この長 四郎三という人は、江戸にも聞こえるほどの豪商であったばかりではなく、漢詩、和歌、俳句、書画骨董の収集にも通じる教養人であったと伝えられています。

茶室は表千家不白流（おもてせんけふはくりゅう）の流れを汲むもので、木造平屋の切妻造（きりづまづくり）、三畳台目（さんじょうだいめ）の茶室と三畳の間、勝手、水屋からなり、建築に当たっては日本を代表する古筆鑑定家 古筆了仲（こひつりょうちゅう）の指導を受け、慎重を期したと言われています。

紅葉に囲まれ、池に注ぐ水音が聞こえる様は、幕末から昭和にかけて栄えた足利屈指の豪商の奥座敷にタイムスリップしたような雰囲気を感じられます。

お茶会開催日を除き抹茶の無料サービスも行われますので、ぜひ秋の「物

「観光振興課（観光協会提供）」

外軒の美」をお楽しみください。

日時:11月の土・日・祝日 各日午前9時～午後4時

場所:物外軒(通6丁目3165番地 織姫公民館裏)

交通:東武伊勢崎線足利市駅から徒歩約20分

JR両毛線足利駅から徒歩約20分

北関東自動車道足利ICから約15分

東北自動車道佐野藤岡ICから約40分

問合せ先:足利市文化課文化財保護・世界遺産推進担当 ☎0284-20-2230

【足利秋まつり】

問合せ先:足利秋まつり実行委員会(足利商工会議所) ☎0284-21-1354

足利学校さままつりや陶器・クラフトアートまつりなど、秋のイベントを集約したおまつりです。まちなかが紅葉で色づく頃、足利の食や文化、自然などをまつりと一緒にお楽しみください。

☆足利織姫神社秋季例大祭

織物のまちとして栄えた足利市のシンボルともいえる足利織姫神社の秋のお祭りです。

神社には、産業振興や縁結びを願う人たちもお見えになり、同神社は恋人の聖地並びに日本夜景遺産にも認定されています。

期日:11月3日(日) (毎年11月3日)

問合せ先:足利織姫神社奉賛会事務局(足利織物会館内) ☎0284-22-0313

☆第42回足利尊氏公マラソン大会

足利の歴史や文化、自然を感じながら走る足利尊氏公マラソン大会が今年も開催されます。コースは高低差が10m以内、フラットで好タイムが狙いやすいとランナーからも好評です。ゲストランナーは、大学時代4年連続で箱根駅伝に出場された、足利市出身の西田隆維(にしだたかゆき)さん、あしかが輝き大使の堀優衣さん。足利のB級グルメや名産品など様々なブースが出店予定の他、ニュースポーツをご家族で体験頂けるコーナーなどもあり、楽しい一日をお過ごし頂けます。

なお、マラソン大会はエントリー制ですので事前のお申し込みが必要です。当日の

「観光振興課（観光協会提供）」

お申し込みは出来ませんので、あらかじめご了承ください。

日 時:11月3日(日)雨天決行(毎年11月の第1日曜日)

午前9時 ハーフの部から順次スタート

場 所:足利市総合運動場 陸上競技場

参加料:大人3,500円、高校生2,000円、中学生以下1,500円、

ペアの部(1組)4,000円

申込期間:7月1日(月)～9月6日(金)まで

※エントリーは締め切りました。

※当日参加の受付はいたしません

問合せ:足利尊氏公マラソン大会実行委員会(足利市教育委員会事務局 市民ス

ポーツ課 内) ☎0284-20-2232

☆鏝阿寺秋祭

古くから「大日さま」として親しまれている鏝阿寺の秋のお祭りで、多くの出店などで境内が賑わいます。この時期には、七五三の晴れ着を着たお子様連れのご家族も訪れます。

日 時:11月3日(日)・4日(月・祝) (毎年同日開催)

大護摩 午前10時30分・正午・午後1時30分・午後3時 (予定)

問合せ:鏝阿寺 ☎0284-41-2627

☆足利道楽・楽ジュアリーツアー

足利銘仙を着てまち歩きを楽しむ「足利道楽・楽ジュアリーツアー」が今年も開催されます。

足利は、鏝阿寺や足利学校などの歴史スポット、風情のある石畳通り、少し道を入れれば雰囲気の違い路地裏に出会えます。そんな足利には「着物」が良く似合います。昭和初期に人気を博した「足利銘仙」を着て街歩きをしてみませんか？

日 時:11月9日(土)午前9時～午後4時

募集人員:先着50名様

参加費:大人3,500円、子供(小学生以下)2,000円

「観光振興課（観光協会提供）」

問合せ:足利商工会議所 ☎0284-21-1354

☆第42回足利繊維まつり

繊維製品の展示・販売、手染め体験教室、布の工作教室、ポップスコンサートなどが行われます。先着100名様には伝承館オリジナルグッズのプレゼントもあります。

日 時:11月9日(土) 午前10時～午後4時

場 所:足利織物会館2階伝承館、4階研修室・大ホール(通3丁目2589)

交 通:JR両毛線足利駅から徒歩約15分

東武伊勢崎線足利市駅から徒歩約15分

北関東自動車道足利ICから約10分

問合せ:足利繊維まつり実行委員会(足利織物会館)

☎0284-21-1511

☆第41回 JA足利まつり

毎年様々なイベントが行なわれ、お子様からご年配の方まで幅広い年齢層の方が集い、大変賑わいます。市内小中学生を対象とした書道作品展も行われます。

日 時:11月9日(土)・10日(日) 両日ともに 午前9時～午後3時30分

場 所:JA足利本所(弥生町)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅から車で約15分

JR両毛線足利駅から車で約10分

北関東自動車道足利ICから約10分

問合せ:JA足利本所 ☎0284-41-7151

☆第36回収穫祭

晩秋の週末、葡萄畑で出来立てのワインを楽しむ収穫祭は、毎年沢山の人で賑わいます。スペシャルゲストを招いての演奏会も開かれます。

日 時:11月16日(土)・17日(日)雨天決行(毎年11月の第3日曜日とその前日の土曜日) 午前10時～午後3時(受付は午前8時～午後2時30分まで)

「観光振興課（観光協会提供）」

場 所:こころみ学園ぶどう畑(田島町611)

参加料:お一人様4,000円(税込)

※ハーベスト・キットとしてワインまたはジュースの引換券、グラス、グラスフォルダー、カトラリー(フォーク、ナイフ)、収穫祭バッジをお渡しします。

事前に臨時バス乗り場でハーベスト・キットと引き換えられる収穫祭チケットをお求め頂くか、当日収穫祭受付でハーベスト・キットをお求めください。

※収穫祭チケットは9月1日よりワイナリーのショップでも販売致します。

交 通:公共交通をご利用ください。

交通アクセスは、公式ホームページ(<http://www.cocowine.com>)をご覧ください。

問合せ:ココ・ファーム・ワイナリー ☎0284-42-1194

収穫祭専用電話ガイド ☎0284-42-1807

☆第3回メニメニ銘仙

銘仙を見て買って着て楽しめるイベントを開催します。

日 時:11月16日(土)・17日(日)着付け体験・企画展:午前9時～午後5時

※16日(土)午前10時～午後4時のみ銘仙市を開催

場 所:足利まちなか遊学館(通1丁目2673-1)

※銘仙市はうさぎや隣の広場で開催

交 通:東武伊勢崎線足利市駅から徒歩10分

JR両毛線足利駅から徒歩5分

北関東自動車道足利ICから約8分

問合せ:足利市観光振興課 ☎0284-20-2165

☆恵比寿講

開運や商売繁盛を願う人々で毎年大変な賑わいをみせる恵比寿講。参道の両側には名物の「おたから市」の店が軒を連ね、景気のよい声で客引き合戦を演じます。

また、境内ではお神樂が行なわれ、「えびす」「ひよっこ」が、笛・太鼓に合わせて踊ります。足利七福神の一つとなっています。

「観光振興課（観光協会提供）」

日 時:11月19日(火)・20日(水)(毎年11月19日・20日)

19日は午前10時から終日、20日は午後3時頃まで

場 所:西宮神社 (西宮町2931)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅・JR両毛線足利駅から車で約7分・徒歩約30分
北関東自動車道足利ICから約15分

問合せ:西宮神社 ☎0284-21-6790

☆釋奠(せきてん)(市指定民俗文化財 平成20年6月30日)

足利学校(国指定史跡、日本遺産)で、毎年11月23日に開催される、孔子とその高弟をまつる儀式です。現在は、東京の湯島聖堂など全国でも数か所だけに残っている大変珍しい行事です。

日 時:11月23日(土)午前10時

場 所:足利学校 方丈(昌平町2338)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅から徒歩約15分

JR両毛線足利駅から徒歩約7分

北関東自動車道足利ICから約10分

問合せ:史跡足利学校事務所 ☎0284-41-2655

☆第27回足利学校さままつり

毎年11月23日に足利学校で行われる伝統行事「釋奠(せきてん)」にあわせ、足利学校とその周辺で「足利学校さままつり」として、漢字段位検定や小学生論語かるた大会などが開催されます。

日 時:11月23日(土)～24日(日) (催しによって時間は異なります)

場 所:足利学校及び周辺

交 通:東武伊勢崎線足利市駅から徒歩約15分

JR両毛線足利駅から徒歩約10分

北関東自動車道足利ICから約10分

問合せ先:足利学校さままつり実行委員会(足利市観光振興課)

☎0284-20-2165

「観光振興課（観光協会提供）」

☆足利灯り物語

足利のまちに点在する歴史文化遺産をはじめとした観光資源を「灯り」で演出し、夜の足利の魅力を感じ、発見するイベントです。

史跡足利学校での切り絵アニメーション「字降松(かなふりまつ)」の上演のほか、足利織姫神社での銘仙行灯や物外軒での庭園文化研究会によるライトアップ、雪輪町での足利大学の竹あかりなどを市内各所で実施します。当日は、チェックポイント2か所をまわってスタンプを集めて足利織姫神社に持参した方に各日先着300名様限定で「縁結び風船」をプレゼントします。

日 時:11月23日(土)～24日(日)午後5時30分～午後8時00分

※物外軒は午後7時30分まで

場 所:史跡足利学校、足利織姫神社、物外軒、ゆきのわ長屋周辺

料 金:無料

問合先:足利市観光協会 ☎0284-43-3000

☆陶器・クラフトアートまつり

陶器や足利産新そばの限定販売、人気のパン店等が集合します。

期 日:11月22日(金)～24日(日) 午前9時30分～午後3時30分

場 所:栗田美術館(駒場町1542)

入場料:イベント会場は無料 ※イベント会場以外の各施設は有料

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅から徒歩約8分

JR両毛線富田駅から徒歩約10分

東武伊勢崎線足利市駅から車で約20分

北関東自動車道足利ICから約15分

東北自動車道佐野藤岡ICから約30分

問合先:足利秋まつり実行委員会(足利商工会議所) ☎0284-21-1354

☆第14回足利の文化財一斉公開2019

「歴史都市宣言のまち足利」はその名の通り、市内各所に多くの文化財が点在しています。「足利の文化財一斉公開」は貴重な歴史遺産を次代へ継承するとともに、文化財へのより一層の理解と普及啓発を図り、市内外の方々に、文化財を通して足利市の魅力を認識してもらう行事です。文化財の所有者である社寺などにご協力をいただき、普段はなかなか目にすることが出来ない大変貴重な文化財も公開されます。

「観光振興課（観光協会提供）」

今回公開される市内67か所のうち、源姓足利氏2代目の足利義兼公没後820年を記念して「足利氏ゆかりの寺社めぐり」と題して、足利氏ゆかりの社寺11か所を公開します。当日は、足利氏ゆかりの社寺等をめぐる無料巡回バス「ぐるワンバス」を運行します。

日 時:11月23日(土)・24日(日)午前9時30分～午後4時

(公開場所によって異なります)

場 所:市内全域 初公開2か所を含む全67ヶ所

交 通:ぐるワンバス(市内巡回バス)を運行します。

問合先:足利の文化財一斉公開事業実行委員会(足利市教育委員会 文化課)

☎0284-20-2230

花 情 報

開花時期は、気候等により若干前後する場合がありますので、お問合せのうえお出かけください。

問合先:足利市観光振興課観光コンベンション担当 ☎0284-20-2165

一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

【ハーブ】

1,000㎡のハーブガーデンには、様々なハーブが育ち、その色と香りが楽しめます。

時 期:5月～11月頃まで

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町607)

【すいれん】

水辺の花の女王・熱帯性スイレン、紅・紫・白等の色鮮やかな花が涼やかに可憐に咲きほこります。

時 期:熱帯性スイレン(6月下旬～11月下旬)

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町607)

【アメジストセージ】

2万株の紫色の花が咲き乱れます。一番の見頃は10月中旬から11月中旬です。

「観光振興課（観光協会提供）」

時 期:10月上旬～11月下旬頃まで

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町607)

【いちょう】

樹齢550年といわれる鑿阿寺の大銀杏は、栃木の名木百選に選ばれていて、多くの方の目を楽しませてくれます。鑿阿寺周辺の足利学校や善徳寺の銀杏も見事で、また郊外の多くのポイントでもご覧いただけ、黄色の鮮やかな世界に引き込まれます。

時 期:11月上旬～11月下旬

場 所:鑿阿寺(家富町)、足利学校(昌平町)、善徳寺(大町)ほか

【もみじ・紅葉全般】

織姫公園のなかのもみじ谷は、約1,000本のもみじやユリノキが赤や黄色のコントラストをつくりだし、非日常へと誘ってくれます。

時 期:11月上旬～11月下旬

場 所:織姫神社(巴町)、草雲美術館(緑町)、行道山浄因寺(月谷町)、
名草巨石群(名草上町)ほか

体験

【八木節】

日本三大音頭の一つとされている、足利の郷土芸能「八木節」公演をご鑑賞頂いたり、実演を楽しんだりしてみませんか。

場 所:八木節会館(福居町580-1)

内 容:八木節の公演等

料 金:足利市八木節連合会へご確認ください

交 通:東武伊勢崎線福居駅から徒歩約10分

JR両毛線足利駅から車で約15分

北関東自動車道足利ICから約20分

東北自動車道佐野藤岡ICから30分

問合せ先:足利市八木節連合会 ☎0284-71-1214

「観光振興課（観光協会提供）」

また、太平記館では「観光八木節太平記館公演」として、足利市を訪れる観光客に、「八木節発祥の地・足利」を知っていただき八木節を通じて観光の振興を図るため、足利八木節連合会の協力による八木節公演が行われています。

期 日：4月14日（日）～11月4日（月）の日曜日・祝日

午後2時～午後3時

場 所：太平記館南側駐車場（伊勢町3丁目6-4）

行 事：八木節公演

交 通：東武伊勢崎線足利市駅から徒歩約15分

JR両毛線足利駅から徒歩約10分

北関東自動車道足利ICから約10分

問合先：観光八木節実行委員会（足利市観光振興課内） ☎0284-20-2165

【小俣町山車会館】

栃木県内最大級の張出舞台付・彫刻屋台の山車です（市指定文化財）。江戸時代後期に造られたものと推定され、総高は6.3mを測り、正面上部に「太陽と鶴」、下部の梁には幅3.6m、重さ約250kgを量る大型の龍の彫刻が施されています。背面には「月と兎」の彫刻が施されています。

かつて小俣町の八雲神社にありましたが、山車の組み立て・分解の繰り返しでは破損や経費がかさむ為、組み立てた状態で保存したい、と平成26年に小俣小学校西側にオープンしました。

会館内では、約6mの手摺付階段から山車を見下ろすことができます。参観者10名様より公開いたします。事前にご予約をお願いいたします。

場 所：小俣町山車会館（小俣町670-1）

交 通：東武伊勢崎線足利市駅から車で約20分

JR両毛線足利駅から車で約20分

JR両毛線小俣駅から徒歩約5分

北関東自動車道足利ICから約20分

東北自動車道佐野藤岡ICから約50分

問合先：小俣町山車保存委員会 新井様 ☎0284-62-8623